



防災体制の充実について

無所属の会 市民の力 ● 奥村 幹郎 議員

消防団の環境整備

問 滋賀県消防操法訓練大会において毎年優秀な成績を収めている湖南市消防団の夜間練習の照明等設備について。

答 活動助成金の活用で工夫いただきたい。

問 なり手不足、高齢化等が課題とされている消防団員の現状について。

答 定数300名に対し293名。積極的に推進するなど啓発に取り組んでいきます。

問 地域防災力向上に大きな力になり得る女性消防について。

答 現在一名の団員に活動いただいています。女性の視点、力は必要です。活性化にむけ検討に取り組みます。

災害ボランティア支援

問 災害ボランティアに参加意



8月5日の大会

欲のある市民への案内(告知)方法について。

答 市社会福祉協議会ボランティアセンターと連携して、支援の方法などを検討します。

防災士の活動状況

問 防災士の活動状況について。

答 地域・施設の防災リーダーとして啓発・訓練などで活動いただいています。

ハザードマップ

問 災害ハザードマップの見直し計画は。

答 県の浸水想定警戒区域・土砂災害警戒区域見直しに合わせて順次改定していきたいと考えます。

保育園の民営化は、 ていねいな説明と周知を



議会改革ネットワーク ● 植中 みやこ 議員

問 平成32年4月から
の保育園民営化には、
保護者や現場に不安の
声が大きいが、具体的
にどう変わるのですか。

答 待機児童の解消をはじめ、休日保育、一時預かり保育などのニーズ対応、地域の子育て支援の充実のために、公立保育園などの再編を進めています。中学校区ごとに一つの公立園を残し、子育て世代包括支援センターの役割をします。長時部(保育所部分)の保育料の変更はなく、短時部(幼稚園部分)は現在の保育料がベースになります。待機児童は4月1日現在で27名ですが、定員70人の民間保育園の整備を進めています。土曜保育は中学校区で継続運営する4公立園で実施する予定です。子どもへの影響を最小限にするため、合同保育の移行期間や保

護者・事業者・市の話し合いの場を設置し、子ども家庭局内に定期的な情報交換や保護者からの意見を聴く窓口を置くなど、民設民営でありながら市の関与を明確にします。民間事業者の応募のない保育園などは公立で継続します。職員は民営化実施時に公立園などに異動します。保護者説明会の開催も考えています。

被害を最小にする防災・減災対策

答 土砂災害警戒区域内にある高齢者施設3カ所、幼稚園2カ所では避難計画を作成し、訓練も実施しています。福祉避難所は、21事業所と協定しており、平時からの準備や調整の協議を進めます。ため池は36カ所あり、非常時の連絡体制は整備しています。